

第35回公開研究会 参加者の皆様のご意見・ご質問

①研究テーマ（及び研究全般）について、お感じなられた点がありましたらご記入ください。

- ・改めて様々な観点から、多角的に、身につけてほしい力を見ることが重要であると感じた。
- ・テーマがわかりやすく研究のイメージがわきやすい。
- ・教師の実態把握の力を広げる取組が、素晴らしいと思いました。なぜなら、とかく自分だけの尺度で実態把握をしてしまい、生徒のよさや困難さ、支援の方法の幅が狭まっている状況があるからです。年齢や特別支援に関わる経験の差を埋め、教師同士が協同したり自分の実践を振り返ったりすることができると思います。
- ・通常学校での特別な支援を必要とする子どもたちについて、自立活動の観点から支援をしていく場合、特に必要となるのが「心理的安定」と「人間関係の形成」だと考えています。附属支援学校の「社会情動的能力の向上」においても、つながるところを感じ、勉強になりました。
- ・校内において課題等共有できる場が少ないので、大変参考になりました。
- ・事前・事後の実態把握に用いるチェックシートについて、内容項目が広く網羅されていて参考になりました。
- ・教師の実態把握の力を広げる視点はとても良いと思った
- ・現在求められている大切な力についてをテーマとしていたと感じた。また、そのために、私達教師の力量を上げることが大切だと思われるが、その取り組みが副題となっており、興味深いテーマであると感じた。
- ・貴校のこれまでの研究テーマが深まった印象を受けました。
- ・子どもたちの成長と教師の成長をともに研究として取り組むという、とても興味深い内容だったと思います。
- ・子どもの社会情動的能力の向上のためには、各教科等における指導に加えて自立活動の指導が大切であるということを改めて学びました。様々な観点から子どもの実態を捉えていくことで、教師の子ども理解が深まり、それが教師間でも共有されて日々の支援に活かされていくことで、子どもの社会情動的能力の向上に繋がるのだと教えていただきました。
- ・情動調整について、学生の頃勉強しており、とても興味のある分野なので、非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・なぜこのテーマを設定したのかや、子どもの実態に合わせてどのように支援したのかが学部ごとにまとまっていて分かりました。

・研究の基本理念が明確で、方法論も論理的であるため、第三者が初めて見ても、何が行われ、何が目指されているのかが理解しやすいものでした。 また、生徒の能力向上のために、まず教員側の実態把握の力を拡充する取組がなされている点は、高校でも見習わなければならない部分だと感じます。

・OECD のこれからの社会参加に向けて求められる力に基づいた研究テーマとなっており児童生徒の主体的な社会参加に向けた指導を実践するためのテーマ設定となっていると感じ、大変興味深く拝聴させていただきました。また、自立活動の内容と繋げて指導されており目標の設定、目標行動について、振り返りと評価といった PDCA サイクルは大変参考になりました。

・教師側の変化・成長を文言に入れている点がよいと感じました。「社会情動的能力」チェックシートも児童を見る視点の参考にしたいです。

児童の実態把握が十分にできていないのではという不安の中で、日々児童に接している私には、とても引きつけられるテーマであった。

・私は、特別支援学校の教員になって2年目ですが、児童の課題を見取って目標を立てる力については不安を感じます。実態把握の大切さについては、大学の授業で学びますが、具体的な目標の立て方などは経験によって身に付くことだと思うので、今の自分の力量を補うものとして、チェックシートの活用はぜひまねしていきたいと思いました。先輩の先生方がどんなふうの実態把握をして、子どもの様子进行评估して、自分の指導や支援を振り返っているのか、PDCAサイクルの流れを動画を通して知ることができたのは、自分の学びになったと感じます。

・サブテーマにある「教師の実態把握の力」は、これから教職に携わる者として、非常に興味、関心の引かれる内容であった。

・「教師の実態把握の力を広げる」というところで、いろいろな立場の先生方の考え方の変化がわかり、いろいろな立場の先生方にとって、共感できる場所が多かったと思う。

・今回の研究テーマが教師の実態把握の力を広げる取り組みというのが、初めて特別支援に携わる教師にとっては、視点や視野を広げるきっかけになる研究だと思いました。附属特別支援学校の任務である広く『特別支援とは』を考えさせる基本の『き』となるテーマだったと思う。

・難しいテーマを、分かりやすく教えていただき、ありがとうございました。子どもたちに必要な力だと、感じることができました。

・児童・生徒の実態把握について教師自身の力もモニタリングしながら資質・能力の向上を図っている点がよいと思いました。

・実態把握という点では、どの児童に対しても必要なことだと思っています。そのため、貴校の取り組みは大変参考になります。人数が少ないからできるのではなく、できることからでも取り組むことの大切さを感じました。

②学校研究概要を視聴した方にお伺いします。視聴した動画の内容についてのご意見・ご質問があればご記入ください。

・教科の下支えをする自立活動に主題を設定されたことをうけて、教科と自立活動の関わり合いをもう少し詳しく知りたいです。

・貴重なお話をありがとうございました。社会情動的能力をキーワードとして、学校全体で取り組まれている研究内容が分かりやすく、今年度も大変勉強になりました。恐縮ですが、1つだけご質問させてください。もし私の勘違いでしたら申し訳ありません。研究の目的が、「ツールを用いることで、教師の実態把握や支援等の力にどのような影響があるか」というものだったと思いますが、各学部の結果又は考察ではそれに加え、児童生徒の社会情動的能力の向上についても触れられていたと思います。教師の力についてが研究の目的となっていました。児童生徒の社会情動的能力の向上についても合わせて、これら2つが研究課題という理解でよろしかったでしょうか。

・将来社会に出て多くの人と関わるためには情動的能力やコミュニケーション能力は必要不可欠であると思うので課題として挙げられて、私たちが見ることはとても有効であると思いました。

・実態把握ツールの説明があり、その実物も提示されていたので参考になった。

・社会情動的能力を育成するために分かりやすく説明されていた。目標を持つこと、協同すること、情動を調整することはそれぞれが関連しあっていることが分かった。研究テーマを決めるにあたり協同すること、情動を調整することに注目した理由について出ていたと思うのですが、目標を持つことを選ばなかった理由についてはでていなかったと思うので教えていただけますでしょうか。

・教育活動全体として自立活動に取り組み、成果が上がっていることがよくわかりました。自立活動の時間との関連は、どのようにされているのかなと思いました。

・児童生徒の社会情動的能力と教師の実態把握の力に関連があるということがわかった。教師がどのように児童生徒を捉えて支援を行っていくかということが、児童生徒の成長にとって大切なのだと思った。
研究全体がわかりやすく良かったです。

・「教師の気づきに応じて、児童生徒の社会情動的能力が向上した」ということから、実態把握や発達段階、学習内容の整理の重要性を改めて実感しました。

・とてもわかりやすい

・自立活動を取り上げた理由がとてもわかりやすかったです。社会情動的能力の向上はどの学校でも教員が頭を悩ませながら取り組んでいるものだと思います。共通のツールの利用など、とても素敵だと思いました。

・もともとある指導に自立活動を設定するというお話に共感した。学校教育活動全体を通して、総合的に子どもを見ていくという視点は、とても大切だと感じた。

・社会情動的能力の調整について知識が少なかったのですが3要素において細かく説明があり、研究で重視する点については定義も明記してあったので非常に分かりやすかったです。また、自立活動を通じた研究の意義についても理解したうえで各学部の研究を見ることができました。

・わかりやすく丁寧にまとめられ、学部間の連携を感じました。児童生徒だけでなく、教師の変化も捉えている点は大切だと思いました。

・研究としてどのような目的でどんな取り組みを行っていたのかが分かりやすく説明されていたと思います。

・私は今年の4月から他県で特別支援学校の教員をしています。研究概要の説明にもあった「情緒の安定」や「人のかかわり」に課題を抱える児童生徒が多いということを、現場に出て実感する毎日です。とても興味深い研究テーマで勉強になりました。

・社会情動的能力が各教科等の学びにどう影響するか、次年度の研究が楽しみです。

・自立活動については、個々の解釈ができる範囲だと思いますが、教員間で解釈を共有することで、同じ方向性を持つという試みがとても参考になりました。

・非認知スキル、とても参考になります。サーツを基にした、取組もとてもわかりやすいです。今年度コロナ感染症等の関係で研究も軌道修正があったと思いますが、参考になりました。

・社会情勢能力の「生徒自身が目標を持つ」といったことについての指導支援は今後どのように進めていかれる予定なのかを伺いたいです。

・経験が浅く、いまいち研修がよくわからないことが多かったですが、貴校だけでなく、本来の研修の意義や流れはこういうことか、と基本的なことも理解できました。次回指導案を書く時にも、参考になります。

・チェックシートを活用した教師同士の話し合いはとても大事であると思う。チェックシートは参考にやってみたい。

・「社会情動的能力」を客観的に観察可能な行動によって説明することを徹底していたことが非常に印象的であった。分かりやすかったです。

・研究内容がわかりやすくまとめてあり、よかったです。

・聴きやすく、画面が見やすくよかったです。

・説明内容、テンポともとてもわかりやすく、よかったです。

・丁寧な研究プロセスを踏んでいると感じました。概要も非常にわかりやすかったです。

・児童生徒の実態把握と支援のみに視点をあてた実践ではなく、教師自身が実態把握の力を振り返り、実践していることが非常に大切な取り組みだと感じました。

・社会情動調整への対応の難しさを感じました。一人一人異なった調整方法がある中、実態把握からその点を検討していく流れは分かりましたが、なかなか変化が見られないこともあるのではないかと思います。

③小学部学校研究概要を視聴した方にお伺いします。視聴した動画の内容についてのご意見・ご質問があればご記入ください。

・言いたいことをうまく伝えられない子どもに対するアプローチの仕方を途中経過も交えて配信していただき、とても参考になりました。

・貴重なお話ありがとうございました。自立活動指導計画作成シート等からも、自立活動の6区分についてを総合的にアプローチする、というお話があり大変勉強になりました。以前私も児童生徒について6区分の観点から実態把握をしようという試みをさせていただいたことがあり、区分同士の相互の関係から子どもを捉えることで、多角的に実態把握や支援を考えることができました。なので今回の先生方の実践や研究の考察を見て、総合的なアプローチの重要性がより理解できました。ありがとうございました。

・模倣の場面で、鏡の高さからおんぶだと思うのですが、トイレでのおんぶが気になりました。
対象女児が言語方略で気持ちを表出できるようになったことが、すごいと思いました。先生と一緒にいる姿から「学校大好き」という気持ちが伝わってきました。

・絵カードでの支援や、模倣、逆模倣等、児童の実態に応じた関わりをしているのだと感じた。教師との関係性も、児童の心理的な安定や自己調整につながるということがわかった。
ぜひ特別支援部で共有していきたいと思います。

・「情緒の安定に課題がある児童」への実践として、7月の第1次実践で「朝の体育」の場を選ばれていたことについて、集団行動においては様々な要素が同時に起こりえるため、心理的な安定をまず育む場としては環境として難しかったと思います。・研究の過程とは反対になってしましますが、まず信頼できる大人との間でコミュニケーションを学び、休み時間における楽しいことを選択する経験を積んで、それからの様々な場での心理的な安定の般化という道筋も考えられると感じました。・以前の研究で「選択すること」そのものを取り上げられていたと思いますが、絵カードの利用についても、2次元の視覚資料と、実際の活動や3次元の教室がどれほど結びついているかは、児童によってそれぞれだということもその研究の時に教えていただきました。そのため、意思表示の手段や選択することそのものについても丁寧に検討することが大事だと感じます。

・とてもわかりやすい

・「どのような力を育くめばよいのか」という問いがあったが、児童の実態を把握し、課題を明確化した上で、一人一人の児童に合わせた方法で力を育んでいくことの大切さを再確認できた。

・教師との信頼関係が児童の情動調整に深く関与していると改めて感じることができました。特にトイレでの鏡を見て模倣する様子では楽しい雰囲気での口形模倣や音声模倣の実施であったので児童の実態により一層応じた支援だと感じました。

・先生方が試行錯誤しながら実践をされていることが伝わってきて、自分も頑張らなくてはいけません。
模倣はこの実践前から、このお子さんに見られていたのでしょうか。

・子どもの様子の変化が、動画と教員による解説で分かりやすく示されていたと思います。最初の場面では、気持ちの表出のために使っていたと思われる、教室の写真のついたブロックを指しているような拒否しているような様子でしたが、その後の実践で使われた「絵カード」はそれと同じ物なのか、違ったものなのかが少し分かりにくかったです。

・A児に対する教師の捉え方が変わっていき、柔軟に支援を変更していった結果、A児の社会情動的能力の向上に繋がったことが分かりやすかったです。A児の相互調整の能力が向上した要因の一つと考えられる逆模倣の支援は特に勉強になりました。実践前は泣いて床にうつ伏せになる行動を多く用いていたA児が、実践後には「こわいよ」とつぶやくなど、言葉を使って気持ちを安定させるように変化していて、自己調整における質の変化という観点からも能力の向上が分かりやすくて勉強になりました。ありがとうございました。

・自立活動に関して、どれか一つの区分にアプローチするのではなく、関連し合う部分に働きかけることで、総合的な成長を促すことができるという視点の大切さを改めて感じることができました。

・環境を調整することに加えて、本人に合った調整方法を身に付けられるように支援していくことの大切さを改めて感じました。何より、教師自身が子どもを見取る力を高めることが重要だと学びました。

・第一次実践の身体ガイダンスをする状態でしたが、第二次では絵カードを用い、見通しをもてるようにしたうえで、第三次の他者との関わりに入る、という段階的支援がとても参考になりました。

・以下の3点を質問いたします。（支援学校での勤務経験が無く、的外れな質問になってましたら申し訳ありません）
①模倣等による支援（第3段階）以降、環境調整（第1段階）や絵カードの使用（第2段階）の支援は継続されたのでしょうか？（児童Aの変容は、専ら模倣等の支援による成果とみなしてよいのでしょうか？）
②模倣という指導法は、支援学校では一般的なのでしょうか？（中学部の研究でも、模倣が奏功したとの内容がありました。）
③言語方略や協同の場面の増えた児童Aを、今後どのような目標のもとで支援するのでしょうか？（例えば、非認知スキルの向上しているの、教科等の内容の指導に力を入れるなど）

・口形模倣等を行うことにより、児童との教師との間に信頼関係を築き、児童の社会情動的能力の向上、また指導目標の達成をねらった取り組み、大変参考になりました。

・小学部だけではなく、非常に深く分析されていると感じました。児童の変化・成長だけでなく、研修目標にある教師側の変化・成長についてもわかりました。いつも何となく「次は、かるたをするけれど、A君は負けたら叫ぶから、〇〇しようかな」と意識しているだけことを、きちんと理論づけて見直さねばならないと思いました。スライド14の児童は、その前の動画とは打って変わって、画像編集されていても、満面の笑みだろうと想像できました。教師が変われば児童も変わることを改めてみることができました。私は児童自身の力を伸ばす観点が薄いので、そのあたりも参考になりました。家庭環境・経験不足・学校不適応等のある子を担任していますが、「やりとりの楽しさ」から発語が増えるということを再度意識して指導したいと考えました。

・子どもたちが学ぶうえで、安心・安全な環境や人間関係が土台にあることの大切さを改めて感じます。また、一つの区分だけに働き掛けるのではなく、関連し合う部分にも働き掛けるということは意識したい大切な視点であると感じました。今回の動画は研究の概要についてですが、学校教育活動全体の中で自立活動の指導を行っているとのことですので、授業の中にどう落とし込まれているのか、その具体を知りたいと思いました。

・環境調整には限界があり、情動調整の方略を身につけることが大事であるという言葉が印象に残った。

・実態把握や支援には、話し合いや情報収集、多角的な見方、実践の振り返りは大切だと思いますが、業務改善が叫ばれる中、会議時間は1時間と決められており、なかなか話し合えないのがもどかしいと感じています。また、話し合いでは、司会者役の人の力量も重要となってくるため、ただの意見を言うだけで広がらないことが悩みです。実態把握や支援の話し合い、実践の振り返りの時の話し合いにおいて、どういう方法(付箋を使うのか、ホワイトボードに書き出すのかなど)で話し合いをしているのか、より短時間で効果的な話し合いがどういうふうに行われているのか知りたいです。

・感想ですが、環境整備だけではなく、児童自身が情動を調整する方略を育むことも大切であることが分かりました。教師の実態把握力によって、支援の内容も幅も広がることが分かりました。そして、それが児童の成長につながっていて、実態把握の力をもっと養っていく必要性を感じました。

・社会情動的な能力チェックシートを用いた評価によって、児童生徒の自己調整方略の質の変化が明らかにされていたが、評価をするにあたって、日常的にはどのように情報収集がなされていたのか知りたいと思った。分かりやすかったです。

・事例で具体的な場面が提示されていたことで、よくわかりました。

・動画を視聴させていただき、ありがとうございました。実践の様子を見せていただけたので、イメージをもちやすかったと感じました。私も子どもとの関わりの一つとして、「模倣」の部分を取り入れ、コミュニケーションを深めていきたいと思いました。ありがとうございました。

・事例を基に分析、アプローチしている様子がよくわかりました。

・環境調整や情動調整方略を身につけさせるなどの支援はよく聞きますが、模倣・逆模倣と言う視点は無かったので勉強になりました。模倣・逆模倣の動画が先生自身も楽しんで支援している様子で、特別支援教育の良さを感じました。

・自分の思いをどのようにしたら相手に伝わるのか、対応する児童がどのような思いをもって行動しているのか、実態把握から見えていくという取り組みが共感できました。その難しさも感じました。

・逆模倣も効果があるのだということを知れた。

④ 中学部学校研究概要を視聴した方にお伺いします。視聴した動画の内容についてのご意見・ご質問があればご記入ください。

・よい

・今回の実践を通じて成長していることが分かった。支援の中で使用したという視覚教材はどのようなものだったのか、グループ分けの基準を知りたいと思いました。不安で喋ってしまうとあったが、落ち付いて撮影するまでに具体的にどのような支援を行ったのか気になりました。

・人との関わりの中でも自己調整する力を高めることができるとわかった。教師の支援だけでなく、生徒がお互いを参照し合うことでも成長していくのだろうと感じた。

・自分は小学校だが、つながっているものなので参考になりました。

・実態把握のためのツールを PDCA の中で有効活用する事により、より生徒の活動目標を明らかにすることができ、教師間でも欠落のない情報共有や共通理解、一貫した指導に繋げることができるということが分かりました。この授業以外の場面においても変化はありましたか。

・子どもの様子の変化を示すのに、各動画の前にいつの授業で、このような変化があった、という文言が入っていたので、そういったイメージで子どもの様子の変化を意識して見ることができました。ただ、動画の編集の加減なのか、カメラの係の時に、スタートを押したのか、停止を押したのか、撮影前で待機しているのか、撮影中に落ち着いて待っているのか、という様子が少し分かりにくいと思いました。どの場面からスタートしている、等の解説があるとより分かりやすかったと思います。

・特に印象に残ったのは、得意なことを生かした授業参加への支援です。パソコンの操作に興味関心のある生徒にはスライド操作の役割を与え、授業進行の役割も生徒たちに担ってもらうことで生徒が見通しを持ちながら、能動的に授業に参加できるように様々な工夫をされているのだと感じました。私も生活単元学習の授業をする際は、今回学ばせてもらった「できる状況づくり」を意識して授業していこうと考えました。ありがとうございました。

・友達に関心を向けさせる工夫がとても参考になりました。また、関心を向けさせるだけでなく、その友達の模倣を活動に取り入れるなど、工夫点があって勉強になりました。

・授業や朝の会以外の場面で、場面や状況に応じたやり取りの変化は現れたのかを知りたいです。

・担当の先生は、中学校からの転勤で、慣れるのに大変だったかと思います。まとめていただいた概要動画には現れなかった葛藤や戸惑いがありだったのだろうと、生徒の成長以上に感じるものがありました。自分の特別支援の視点・考え方があやふやになって迷うことがよくあるので、先生側の成長・変化を垣間見ることができて参考になりました。

・カメラ・監督・キャストの3者の動画の作成はとても楽しそうだった。仲間といっしょに作り上げていく活動の成果は大きいと思う。

・社会情動的能力チェックシートや自立活動個別の指導計画作成シートなど、自身の今後の教育活動にそのエッセンスを取り入れていきたいと思った。

・事例生徒の変容がよくわかりました。先生方が生徒の実態把握をされ、それをどうにかすか考えられていることを感じました。

・仲間との関わりという多様な人々と関わるイメージがありますが、小集団の中で他の仲間の良さに触れ成長していく姿を見て、教師を除いた特定の人物と関わりを深くすることが生徒の力を高めることにつながると感じました。

⑤高等部学校研究概要を視聴した方にお伺いします。視聴した動画の内容についてのご意見・ご質問があればご記入ください。

・経験が自信へとつながり、人に話すうえで必要になるということを実践から学びました。現場実習を終えた彼の姿はとても立派でした。現場実習に行く際に、実習先の人に彼の特性(特に今回の研究に関する点)をどのように伝えていたのか気になりました。また、グルーピングも人と関わり、心を開くのが難しい彼にとってはとても重要な意味をなしており、徐々に自分を出すことができるようになっていく姿が素敵でした。

・社会へ出ていくための準備としての情動を調整する力を育成していくことの大切さを学びました。

・教師が生徒たちの思いを言葉にして伝えることから、生徒同士の関わり合いへとつなげていた。生徒の不安を軽減できるような支援を行うことで、生徒の自信につながったのではないかと思った。また、ツールを活用することは、教師同士の考えや思いを伝え合うきっかけにもなり、生徒へのより良い支援を実践することにもつながると思った。

・生徒さんについて成果の維持、定着の状況について教えてください。

・実践前と実践後の生徒の様子の変化が大きく、研究の成果をとて感じることができました。動画にも、その時の生徒の様子(緊張している、目線の安定等)が随時文字やイラストの情報で入れてあったので、どのような状態ということがとても分かりやすかったです。このような変化に至るまでの、より細かい支援の方法や使用したツールを知りたいと思いました。

・「支援方法のまとめ」にもあったようにスキルを獲得し、動機づけ、抵抗の緩和というプロセスで支援していくことで生徒の社会情動的能力が向上したとあり、分かりやすい説明で勉強させていただきました。ありがとうございました！行動が表出するまでの3ステップが、子どもの実態に合わせたものでとても参考になりました。特に、安心できるグルーピングや、興味関心のある教材づくりの大切さを改めて感じました。

・相手の気持ちを考えるという視点からの活動が興味深かった。

・社会情動的能力の獲得に向けたステップは、他のあらゆる学習活動においても活用可能なステップであるように思われた。自身の今後の教育活動の実践に取り入れていきたいと思った。

・分かりやすかったです。特に支援場面を動画で簡潔に紹介していた点が良かったです。
キャリア教育を生かした指導実践が良かったです。

⑥ICT 実践事例を視聴した方にお伺いします。視聴した動画の内容についてのご意見・ご質問があればご記入ください。

・休校中のオンライン授業内容を知ることができてよかったです。

・朝の会の時間に先生とビデオ電話をして話すことができるのは、ルーティンを守ること、生活リズムを崩さないという観点から見ても重要であると思うので、ICT の活用は大切だと学びました。現在貴校ではネットワーク環境が不十分なところもあるとのことなので、GIGA スクール構造が早く広がるといいなと感じました。

・参考になる実践がたくさんありました。アプリの活用もそうですが、休校中の家庭との連携は本当に素晴らしいと思いました。

・LINE のビデオ通話を使用し、コロナの中どのように子どもたちの心理的面のケアも含め活動を行っていたのか分かった。動画は子供の興味や、分かりやすさにつながっており、登校ができるようになってからも活用できるのは良いと思った。これからの一人一台の端末があればこれからの活動の幅が広がるため、これからの活動が楽しみである。限られた環境、機器の中で、とても工夫しておられると思いました。勤務校は、貴校よりもよい環境にありますが、活用のほどは貴校ほどではありません。自分はICTを苦手としています、今後研修したいと思いました。

・学校によっての差を感じました。先生方が学校の実情に合わせながらも、子どもたちのために工夫して ICT を活用している様子が詳しく分かりました。

・本校でも今後、ICT 機器を活用しながらの教育が求められていくので、大変参考になりました。

・休校中に ICT を活用し、学校と生徒をつなぐことで、生徒の不安を軽減したり、学校生活への期待感を高めたりしていたとわかった。ICT は、授業内容の理解度を高めることもできると感じた。また、ICT はただ活用するだけでなく、使い方や使う環境も工夫することが大切だとわかった。ICT を活用することで、児童生徒の発達に効果を与えていることがわかり、実態に応じて積極的に ICT を活用していくことが必要だと思った。

・特別支援学級だけでなく、教室になかなかなじめない児童等にも広く活用できると感じました。

・わかりやすい

・来年度から大きく変わる中、先立ってこのようにまとまった実践を見て、とても勉強になりました。

・休校中だけでなく、学校再開後も、タブレットのアプリやオンラインを利用した授業をされていて、素晴らしい取り組みだと思った。新しいやり方をたくさん提案していただき、とても参考になった。

・具体的な実践事例が紹介されて参考になりました。

・あえらためて、ICT の活用の広がり可能性を感じました。児童生徒の発達に応じて、ICT を効果的に取り入れるために工夫されている点、注意されている点を教えてください。

・情報機器もアクセスポイントも少ない中で、これだけの取組をされていることに純粋に関心いたしました。質問ですが、情報機器の活用方法のアイデアについては、そういった機器の得意な方がいるのでしょうか。それとも、校内外

の研修等でヒントを得ているのでしょうか。授業等に様々なアプリを使用していましたが、それらは無料のアプリで賄えているのでしょうか。もし、有料のアプリを使用しているのであれば、アプリの購入や使用料をどのように予算付けているのかを知りたいです。

・日常的にタブレット型端末を活用しながら支援されていて、その活用方法など勉強させていただきました。今後私も摂食支援や歯磨き支援において活用していきたいです。

・登校できない子や教室に入れない子に動画を見せて見通しを持たせたり、登校できない子とビデオ会議システムを使い顔を見ながらコミュニケーションとすることは非常に有効だと感じました。

・学級単位のメール開設や数多くの動画配信をされたことや、その様子がわかりました。また、学校生活の時間の流れに合わせたビデオ電話は、子どもの規則正しい生活につながると感じました。

・日常的な活用に向け、様々なアプリを活用されていましたが、教員間でのアプリの検討や情報の共有はどのようにされているのか気になりました。

・朝の会等に参加が難しい児童にたいして、事前にビデオで撮影しておき、それを流すことで進行する、また参加する児童の様子をとっておき、それを司会者に見せてその子自身の自信に繋げる取り組みは大変参考にさせていただきました。

・貴校の ICT 環境を知り、本校の環境で文句を言っていない、と反省しました。休校中の活用として、再開後も見通した活用をされているところが参考になります。本校も児童だけでなく支援の必要な家庭がいくつかあるのですが、高等部生徒のビデオ通話の様子を見て少し胸が詰まりました。卒業後も何かしらこうした関係を築ける場があればと、研修に関係なく思いました。「普段使いのタブレット」という点をこちらでも意識して学習に利用したいです。特に、最後のスライドで示された「リテラシーのポジティブな指導」という面、つい、不安をあおるような指導をしてしまうので、気を付けたいです。

・ICT の実践事例について大変勉強になりました。音声のみでなく、映像での情報が生徒児童の様子を知る上で重要な媒体となることがわかりました。

・手探りながらとのことでしたが、かなり精力的に実践されていると感じました。特に、朝の会や帰りの会の実践(健康観察や JoyTime)は、ICT を使うことが目的ではなく、その先の子どもたちの学びにしっかりと目が向けられていて大変参考になりました。

・よくまとめられた内容だった。限られた環境の中で出来ることは何かを考える事が大切だと感じた。

・不登校傾向の児童へのビデオシステムによる働きかけは、小学校でも少しずつ取り入れられるといいと思った。

・私の学校では、今年度全教室にアクセスポイントが設置され、Ipadは45台ありますが、今は、授業の動画を撮って、その場で振り返りとして活用されることが主になっています。来年度からは、一人一台Ipad が支給されますが、それをどのように活用していくのか、全く想像がつかなかったのが、今回活用事例を知れたことは学びになりました。

・革新的で多種多様な取り組みが学校全体を挙げて取り組まれている印象を持った。このような取り組みが行われている要因についても知りたいと思った。(例えば、ICT に関して積極的に取り組もうとする先生方が多い、新たな取り組みを積極的に取り入れようとする風土が学校にあるなど)

・参考になりました。

・これからの学校現場でどのような活用ができるのか、たくさんの事例が紹介されていて、参考になりました。できそうなことは、していきたいと思います。ありがとうございました。

・多くの実践がまとめられ、参考になることが多かった。

・ICT 活用事例がよかった。端末がない状況で、休校中のようにうかがえよかった。先生方の児童生徒の生活リズムや心理面の安定への工夫が見られた。

・教材の拡大表示、会の進行状況の表示など、日々の教育活動の中で ICT 機器を上手に取り入れている実践だと感じました。本校でも取り入れていきたいと思います。場の共有が難しい生徒がリモートで参加する取り組みは、リモートという手段を逆手に取っていて、とてもおもしろいと感じました。動画へのコメント、実際の操作、好きな動画の紹介など、生徒の実態に合った情報リテラシー教育の機会にもなると感じました。活用に関して教員間で能力差が大きくなってしまっていますが、今回の発表は ICT 機器をうまく活用するためのきっかけとなるような動画で、とても分かりやすかったです。授業場面について、〇×で結論付けてしまうことに少し疑問を感じました。インフルやコロナにかかることは悪いことではないですが、かかることは〇ということでもないのかなと思います。直接面と向かってはいない、リモートだからこそ、多様性を大切にすること意識が大事だと感じました。

・たくさんの取り組みを紹介していただき、とても勉強になりました。休校中のことや、学級を繋いでの zoom など、実践的な内容を知ることができて良かったです。特にクラスを繋ぐ zoom の授業の子どもたちの嬉しそうな様子が最高でした。私が勤務する学校は大規模ですが、同じ学年同士を zoom で繋いだ授業をするなど、活用の方法はいくらでもあると感じました。子どもたちの盛り上がる様子が目に浮かびます。色々と試行錯誤していきたいです。ありがとうございました。

・コロナ対策にもなるだけではなく、次世代の教育としての ICT の使い方がたくさんあり、とても勉強になりました。なかなか難しいネット環境の中、今ある環境で工夫して取り組まれていることが分かり、大変参考になりました。LITALICO などのアプリや、パソコンを使った作業が得意な生徒に役割を与えて活動に参加するなどの実践を、知れて有意義であった。休校中に LINE 電話でやりとりすることもいいなと感じた。生活リズムを整えるために朝の会を行うことも斬新なアイデアだと思った。

⑦今回の動画の視聴方法（YouTube による配信）についてご意見・ご感想などがありましたらご記入ください。

- ・視聴しやすく参加しやすくてよかったです。
- ・動画だけだと最後まで見ないと話の全体像が見えにくいと感じました。また、動画の画面を読んでいる途中で次の画面に行ってしまうこともありました。この2つの理由から、配布資料があるとよいと思いました。
- ・実際に授業を見ることができなくても、動画という形でスムーズに実践を見ることができました。たくさんのことを学ぶことができたので感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。
- ・よい
- ・リモートは感染症のリスクを考えず参加できるし、更に Youtube という形は Zoom に比べて自分の都合に合わせて視聴できるので、良かったです。
- ・公開されておる期間はいつでも、何度も見直すことができるため良かった。私は動画を視聴する中で何度か見直したい部分があったので助かった。しかし、実際に子供の様子や授業を見ることができないので先生方の支援や生徒の様子が見ることはできないのは残念だった。
- ・大変勉強になりました。
- ・自分の都合に合わせて動画を視聴することができ、とてもありがたかったです。
- ・良かったと思います。
- ・都合の良い時間に視聴できる形式だったのでありがたかったです。
- ・わかりやすかったです。
- ・申し込みから動画視聴まで、とてもわかりやすく進めることができました。
- ・いつでも、どこでも視聴できて非常にありがたかった
- ・聞き逃したところを繰り返して見た、画面を止めて見たりすることができて、会場で聞くよりよかったです。
動画配信型なので、自分の都合の良いときに視聴できるので、大変ありがたかった。日々の授業や研究に加え、動画の撮影や編集、メール（パスワード）の送信等、準備が大変だったかと思いますが、貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- ・学校をあけなくても参加できるところが一番よかったです。
- ・時間的には今回くらいが丁度よいと思いました。

・動画視聴のため、日程の都合や距離などを気にせず、公開研究会に参加することができて有難かったです。また、動画視聴なので、聞き逃した部分等も戻して再生し直すことができたことも、動画配信でのメリットだと感じました。自分の都合の良い日に、見たいところを何度も視聴できるという点は非常に良かったと感じました。

・動画の長さも適切で、要点をまとめて知ることができたと思います。

・せっかくの動画配信ですので、授業風景をより長時間視聴し、指導の実際や児童生徒の反応などを学べたらと感じました。というのは、昨年、福島大学附属特別支援学校のオンライン授業公開を視聴し、各学部とも1コマ(50分弱)の授業風景をアップしており、学ぶところが非常に大きいと感じていたためです。プライバシー等のデリケートな問題もあり、難しいところです。

・発表用資料があるとよかったです。

・参加しやすく、落ち着いて、何度も見返すことができました。

・じっくりと何度も見られるのでよい。

・普段は、1つの分科会にしか参加できませんが、YouTube配信によって、全学部の研究が見れたことがよかったです。自分の学校でも、他学部の実践を見る機会はありませんので、学年が上がるにつれて、授業や目標のならい・内容の変化を見ることができてよかったです。小・中・高の12年間のつながりも感じることができました。

・配信形式の場合、当日出席することができなくても視聴することができるため、非常にありがたいと感じた。一方、知り得た情報を知り合いなどと共有するために発表に用いられていた資料を入手したいと思ったため、個人情報保護などに配慮しつつ、資料配布などを検討していただけるとありがたい。

・今までのような現地に出向く研究会であれば、地理的な状況から参加することはなかったと思います。youtubeでの配信はとても良いと思います。ただ、配信期間がもう少し長いとありがたいです。

・感染症対策として、工夫された取組であったと思う。研究の目的、経過、まとめがわかりやすくまとめられていてよかった。逆に、もっと詳細を知りたい場合は、物足りなかったかもしれない。

・よい。

・オンデマンド型で視聴時間を選べたため、自分のタイミングで視聴できてよかったです。動画が項目ごとに分かれていたので、内容を自分で整理しながら理解が図れました。

・本来ならば公開研究会ができないような状況の中で、貴重な情報を提供していただき、本当にありがとうございました。動画の配信にされたことで、例年とはまた違ったご苦労がたくさんあったことと思います。その中で勉強の機会をいただけたことに、感謝いたします。ありがとうございました。動画はどれも短く、要点がまとめられていたため、とても視聴しやすかったです。また、実践の様子も分かりやすく伝えていただき、今後の参考にさせていただきたいと思いました。

・個人情報に配慮しながらも様子が伝わるように編集されていて、大変わかりやすく有意義でした。大変なご苦労があったかと思われます。ありがとうございました。

・分からなかった点があった時に巻き戻せるので、そういった点では良いと思いました。

⑧今後、本校の研究内容や研究会に期待することがありましたらご記入をください。

・来年度以降もまた参加させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

・普通小学校でも参考になる実践がたくさんありました。これからもよろしくお願いいたします。

・こういった形で公開していただけると、学校を空けることなく参加出来るので、今後も希望します。

・実態把握のためのチェックシートは、大変勉強になるので、提示していただけて毎回とてもありがたく思っています。今回のような動画による発表もいいなと思いました

・動画の配信に加え、資料も添付していただき、参考になった。特に、「用語解説」はありがたかった。普段、何気なく使ってしまう言葉もあるが、一つ一つ丁寧に定義してもらうことで、よりわかりやすく、共通の認識をもって動画を視聴することができた。

・例年、県内外の特別支援学校の研究発表もありましたので、その部分を継続していただけると嬉しいです。

・今回はコロナウイルスのための動画公開だったと思いますが、今後もこのような動画配信があると、より参加しやすく有難いです。情報機器の活用についての紹介がありましたが、それ以外にも、研究として使用したツールを実際にどのように使っていたのかという具体的な例や、実践の中で使用した教材の紹介等があると嬉しいです。

・応用行動分析学をベースとした研究を是非とも行っていただけたらありがたいです。

・研究内容などとは異なりますが、コロナが落ち着いたら、以前のような生の授業を見させていただき、勉強させていただきたいです。

・オンデマンドによる公開研究会は、自身の職場や自宅から参加することができ、大変参加しやすかったです。デメリットもありますが、気軽に学ぶことができ大変参考になりました。今後もぜひ続けていただけると幸いです。

・今回の研究内容が今後、どのように深化するのか期待したい。

・支援級の担任としては、全て参考になります。

・貴校のようなテーマで研究実践を行っている学校はあまりみたことがないので、とても新鮮な学びを得ることができました。このような実践があることを全国的にも発信していただけると、山梨から離れたところからでも、その知見を学ばせていただけるので、更なる発信活動の推進を願っております。

・各学部で統一していて、とても分かりやすかったです。動画も短時間でポイントを絞って編集されていて良かったです。

・コロナ禍ということもあり、動画で参加できてとても良かったです。今後もぜひよろしくお願いいたします。

・大学との連携、附属幼小中との連携などによる研究の成果もアピールできると、さらに研究機関としての意義が高まると思う。感染症が収束した後も、研究の概要や研究会のまとめを動画配信すると、参加できなかった方々にもありがたいし、全国にアピールしていくことができると思う。

・今回は、教師の視点や視野を広げるきっかけや初めて特別支援に携わる教師の児童生徒への働きかけの事例だったので、次回は、中堅教師や若年教師の指導事例を知りたいです。大学との連携なども知りたいです。

・今後どのような社会状況となっても、できる範囲で情報提供をしていただければ嬉しいです。また、学ばせてください。よろしくお願いいたします。

⑨その他お気づきの点などがありましたらご自由にご記入ください。

・貴重な提案ありがとうございました。

・1つ1つの発表が10分程度になっていたので、苦がなく視聴できました。要点をまとめて視覚的にもわかりやすく伝えてくれていて、とても良い発表だと思いました。・質問の「2回目以上の参加者に…」に回答しないと完了できなかったため、『特に活用していない』に回答してあります。参加は今回が初めてです。

・特になし。貴重な機会になりました。ありがとうございました。

・実際に子どもの様子を見る良さもありますが、動画での配信の良さも感じました。ありがとうございました。

・先生方の熱意に頭が下がります。お疲れ様です。

・感染症対策のため、動画配信型で公開研究会を実施していただき、ありがとうございました。勉強になりました。

・ありがとうございました

・お忙しい中、準備が大変だったことと思います。ありがとうございました。

・研究実践や報告書のまとめだけでなく、動画編集等もあり、非常にご苦労されたことと思います。本当にお疲れ様でした。とても勉強になる機会を提供してくださり、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

・時代の流れとして、公開研究会の実施は難しいのではないかと考えていました。しかし、先生方のご尽力によりオンラインで開催してくださり、参加させていただくことができました。

・また、今度ともよろしくお願いいたします。

・大変な時期に、広く公開していただき、ありがとうございます。小学校の支援学級として、交流（協力）学級との兼ね合いもあるので、すべてが同じようにできるわけではないのですが、研修の進め方、子どもを見る視点は基本は変わらないと思います。基本的なことから知ることができました。普段から特別支援学校の見学に行きたいと考えていましたが、感染症以前に、研修とはいえ普段学校を抜けにくいので、こういうチャンスは大変ありがたいです。また、児童生徒の紹介の際に出てくる「社会生活能力検査」についても、後で調べようと思います。こちらは「田中ビネー」「WISC」など知能検査がほとんどなので。様々な問題さえなければ、休み時間・給食の様子や普段の学習の様子も見せていただきたいと思います。ありがとうございました。

・ありがとうございました。

・中学部の不登校傾向の児童は、たぶん私が昨年受け持っていた児童です。細かい支援により登校できるようになり、中学校生活が送れていることに感謝しています。

・パワーポイント資料が欲しかったです。ありがとうございました。

・（全体を通して）提案内容が資料と動画が上手く活用されていて、とても分かりやすかったです。勉強になりました。コロナで大変な中、ご苦労もあったかと思います。ありがとうございました。

・研究紀要の掲載予定の案内も、この時点で提示されているとよい

・今年度の異例な中、公開研究ありがとうございました。先生方のご苦労や工夫がうかがえ、頭が下がる思いです。視聴させていただき、ありがとうございました。動画のパワーポイントが可能な部分だけでも印刷できたら、さらに内容の理解に繋がると思いました。各自で印刷して、メモを取るなどして活用したいと感じました。